



石井精一《暁の記憶(B)》1941年(山梨県立美術館蔵)



《種をまく人》のほか、多くのミレーの作品が展示されているミレー館

甲府市貢川1-4-27
TEL 055-228-3322 FAX 055-228-3324

山梨 美術館



県立美術館

県立美術館には、ミレーやバルビゾン派の作品を展示するミレー館のほか、山梨県ゆかりの作家の作品を中心としたテーマ展示室、甲府市出身の作家・萩原英雄の作品やコレクションを紹介する萩原英雄記念室があります。年4回の展示替えによりさまざまな所蔵品を紹介しており、夏の常設展では、横山大観、石井精一などの作品を9月13日までご覧いただけます。



芥川龍之介「水虎晩帰之図」(山梨県立文学館蔵)



本県ゆかりの文学者に関する資料を紹介する常設展

甲府市貢川1-5-35
TEL 055-235-8080 FAX 055-226-9032

山梨 文学館



県立文学館

県立文学館の常設展では、樋口一葉、太宰治、芥川龍之介、飯田蛇笏など本県ゆかりの文学者の原稿や愛用品などを展示しています。特に芥川に関しては全国でも有数のコレクションとして知られ、「羅生門」や「鼻」の下書き原稿をはじめ約5,000点の資料を所蔵しています。年4回展示替えを行っており、夏の常設展では、甲府市右左口町にある山崎方代の歌碑について8月23日まで紹介しています。



縄文土器などの資料が並ぶ展示室

甲府市下曽根町923
TEL 055-266-3881 FAX 055-266-3882

山梨 考古博物館



甲斐銚子塚古墳・丸山塚古墳

県立考古博物館

県立考古博物館では、人類が山梨に住み始めてから現在に至るまでのおよそ3万年の足跡を、県内各地の遺跡から発掘した豊富な出土品を通して紹介しています。中でも優れた造形美を誇る縄文土器のコレクションは必見です。また、当館が所在する甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園には、国指定史跡である甲斐銚子塚古墳・丸山塚古墳をはじめ数多くの遺跡が点在しており、併せての見学がおすすめです。

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。



葛飾北斎「富嶽三十六景 凱風快晴」



常設展示室(導入展示「山梨の舞台」)

県立博物館

県立博物館は「山梨の自然と人」を基本テーマとし、山梨の風土と歴史への理解を深める場、また、あらゆる人々が楽しみながら学ぶことができる「人・モノ・情報」が交流する施設です。当館では、パスポートのデザインに採用された「富嶽三十六景」など多くの資料を所蔵しています。常設展示室では、上空数百キロメートルの高度から写した山梨の姿を紹介した「山梨の舞台」が楽しめます。

笛吹市御坂町成田1501-1
TEL 055-261-2631 FAX 055-261-2632

山梨 博物館

ヨゲンノトリについては

博物館 ヨゲンノトリ

博物館



ヨゲンノトリ



「ヨゲンノトリ」で疫病退散!

県立博物館がツイッターで公開した「ヨゲンノトリ」が反響を呼んでいます。「ヨゲンノトリ」は、同館が所蔵している古文書「暴瀉病流行日記」に挿絵として登場した鳥で、江戸時代にコレラの流行を予言し、朝と夕に自分の姿を拝めば難を逃れることができると告げたそうです。この「ヨゲンノトリ」が新型コロナウイルスの終息につながるのではと話題になっています。画像使用に当たっては、申請すれば、県内事業者に限り使用料を免除しており、さまざまな商品が生まれています。疫病退散のシンボル「ヨゲンノトリ」に新型コロナウイルス感染症の終息をお願いしてみませんか。

◀「暴瀉病流行日記」に登場する「ヨゲンノトリ」

アンケートに答えて応募しよう!

【アンケートの回答】と次の①～⑥をご記入の上、はがき、電子メール、ファクスのいずれかの方法でご応募ください。

①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス(ある方)

●アンケート

問1: 今号の中で最も関心を持った内容は?

問2: あなたがお薦めする桃の食べ方は?

※いただいたご意見の一部を紹介させていただきます。

●応募先

山梨県広聴広報グループ「ふれあい読者プレゼント」係

はがき: 〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1

電子メール: koucho@pref.yamanashi.lg.jp

(件名に「ふれあい読者プレゼント」と入力)

ファクス: 055-223-1525

●締め切り

7月31日(金)(当日消印有効)

賞品の発送をもって、当選発表に代えさせていただきます。個人情報や賞品の発送のほか、県からのお知らせなどのために、使用させていただきます。



商品提供: あおき農園

「桃果汁入り飲料」抽選で5名の方に!

「美味しい甲斐開発プロジェクト」については、ホームページをご覧ください。

美味しい甲斐



ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。